

広島県知的障害者福祉協会 令和6年度事業報告

はじめに

平成29年2月に、『我が事・丸ごと』のスローガンが地域共生社会実現本部から提唱されて7年が経つ。この間、日本と世界は百年に一度の大きなショックを二つも経験しているが、その一つが2020年からのコロナ危機、もう一つはロシア・ウクライナ戦争である。これまでに、感染症対策に主軸を置いてきたが、これらを起因とする物価高騰も発生して日常生活を揺るがしており、重なる現状に脆弱な施設運営は深刻な深みに填まっている。また支援体制を整えるための人材の確保も、今日の求人の不足等による厳しい状況があり、各施設においては各々難しい課題を抱えた運営状況にある。しかし今こそ、利用者を中心に、最善の利益を保障し得る施設支援の底力を発揮したいと思う。

「令和6年度報酬改定の基本的な方向性」を熟読すると、更なる地域共生社会への歩みを進める必要がある事を痛感する。また、各地域においては、これまでの新興感染症への対応に加えて、この度の能登半島地震の災害に向けても、各施設・事業所からの支援が必要であると感じる現状である。その中で、各地区における利用者への本来の良質な障害福祉サービス、障害児支援の確保、地域生活支援事業等の拡充など、個々のニーズに応じた、特色あるサービス提供体制の整備が図られていくことを推進していくつもりである。

また、共生社会を広く認知してもらうという「意識の推進」に向けた新たな取り組みの方向性として、障害者虐待防止法、並びに障害者差別解消法の理念の周知徹底、及び啓発にも取り組む必要がある。「心のバリアフリー」の意識を浸透することは、障害者の地域移行や地域生活の支援等がスムーズに行われる一助となり得る。一方で、施設内の事項としては、支援者が充実感や誇りを抱いて働ける環境作りが責務であり、心身の疲弊や孤立感の解消等の工夫がなされ、支援者研修の推進と心の健康管理の強化等の職場環境を整える事は急務である。この1年、本協会としても、各種の情報提供を行うとともに、会員相互の連携を図りながら、真摯に対応していくつもりである。

これらの状況を把握した上で、支援部会活動と業務部会活動の連携を図ることにより、各種の課題検討、研修計画、政策提言などを積極的、効果的に実施することが出来ると思われる。

施設や地域で生活している障害（特に知的障害、発達障害）のある人たちの尊厳が守られ、穰かな生活が送れるよう、確固たる倫理観を持って支援にあたるとともに、会員相互に協力し合いながら、知的障害福祉の推進に努めたい。

また、新興感染症対策や障害福祉施設における働き方改革の実現や Web 会議などのオンライン会議への移行が増えている中、各種会議・研修会などの有り様についても検討工夫が必要である。

1. 基本方針

すべての本協会会員が、共通理解の下、連携した活動を通して、個々の必須課題を意識し、能動的に参加し、利用者、地域、行政などにとっての本協会の有用性を高める為に、以下の活動を基本とする。

- (1) 障害の有無にかかわらずに、誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指して、地域社会全体の思いが繋がり合う環境作りに貢献する。
- (2) 本協会への積極的な加入を促進し、活動基盤の強化を図る。
- (3) すべての会員が本協会への帰属意識が持てるように、活動内容や活動方法について、配慮をする。
- (4) 障害福祉理念や関係施策、更には障害福祉を取り巻く社会情勢などについて、意欲的に研鑽する場を設ける。
- (5) 支援の対象である人たちのニーズや個々の思い、そして地域の人々の障害福祉についての意識や意向、また、新たな障害福祉の必要性について把握し、認識するように努める。(実態調査やニーズ調査など)
- (6) 人材確保に向けて、広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会活動に積極的に参画する。
- (7) 支援に携わる人材(職員)の資質(専門性と意識)の向上と、職場定着を図るための効果的な対策等の検討・実施を行う。
- (8) 個々の会員の経営課題等の改善に資する情報交換、人材交流、相互協力を促進する。
- (9) 社会福祉法人における地域貢献、経営改善、人材確保、県行政への要望等について、広島県社会福祉協議会をはじめとして、関係諸団体との連携の下に、対応策等の検討を行う。
- (10) 平成30年7月西日本豪雨災害の教訓として、県内の社会福祉施設間において「災害時における安心を共に支え合う相互協力体制(広島さっそくネット)」及び「広島県公衆衛生チーム」並びに「広島県災害福祉支援ネットワーク構築推進事業(DWAT)」に向けての協働態勢構築への協力を図る。
- (11) 本協会会員は、(公財)日本知的障害者福祉協会の定款及び会員準則等を遵守しなければならない。

2. 重点課題

- (1) 各種の養成研修(サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者、相談支援従事者研修、強度行動障害支援者養成研修及び各種国研など)へのグループリーダー等の派遣に協力すると共に、障害福祉サー

ビスの「質の向上」や障害福祉従事者としての遣り甲斐感・充実感が得られることを目的に、広島県身体障がい者施設協議会、広島県精神障害者支援事業所連絡会、広島県障害児・者地域療育等支援事業連絡協議会、広島県障害者相談支援事業連絡協議会等と連携・協力を図りながら各種の研修会の立案・参画・協力する。

- (2) 第12回障害者支援施設部会全国大会中国地区大会（広島）の主管業務にあたる。
- (3) 人材確保にむけて、「魅力ある福祉・介護職場宣言」に参画する。
- (4) 障害者虐待防止や身体拘束等の適正化の更なる推進、並びに振興感染症や災害への対応力の強化と人員基準における両立支援への配慮等を図るため、他団体との連携協力を図りながら、各種の研修等を企画・実施する。
- (5) 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援に関する法律（障害者虐待防止法）」並びに「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の理念を周知徹底し、併せて意思決定支援の推進等に向けた各種の研修等を他団体との連携協力を図りながら、企画・実施する。
- (6) 障害者のスポーツ・文化芸術への参画・協力をする。
 - ① あいサポートアート展開催にむけて、協力・参加する。
 - ② あいサポートふれあいコンサート開催にむけて、企画・実施する。
 - ③ 広島県パラスポーツ協会主催事業への参画・協力をする。
 - ④ 広島県知的障害者ソフトボール協会活動に参画・協力をする。
- (7) 各市町において、障害者の孤立や重症化並びに自身の高齢化に伴う「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制をめざす地域生活支援体制の推進に積極的に関与する。
- (8) 令和6年度における本協会主催、若しくは本協会支援部会・業務部会主催の各種研修会については、成功裡に迎えられよう、会員相互の協力を図る。
- (9) 支援部会、業務部会の活動の活性化を図るために、それぞれに委員を登用し、幅広い人材の参画により協会活動を充実させる。
- (10) 本協会の事業が確実に実施され、成果を上げるように、適時適切に、その事業の進行管理を行い、必要に応じて会員相互の協力態勢の構築や事業計画の再検討などの善後策を講じる。
- (11) 本協会の活動に関係深い関係団体等とは、従来に引き続き連携を図る。
 - ① 広島県社会福祉協議会
 - ② 広島県身体障がい者施設協議会
 - ③ 広島県精神障害者支援事業所連絡会
 - ④ 広島県障害児・者地域療育等支援事業連絡協議会

- ⑤広島県手をつなぐ育成会
- ⑥広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会
- ⑦広島県パラスポーツ協会
- ⑧広島県社会福祉施設経営者協議会
- ⑨広島県災害時公衆衛生チーム・広島災害派遣福祉チーム
- ⑩広島県就労振興センター
- ⑪広島県発達障害者支援センター
- ⑫広島県知的障害者ソフトボール協会
- ⑬広島県障害者相談支援事業連絡協議会
- ⑭業種別代表者会議（加盟14団体）

（①、②、⑨以外に県内の老人福祉連盟、児童養護施設協議会、母子生活支援施設協議会、乳児院協議会、保育連盟など）

⑮その他

なお、本協会主催の研修会等において、他団体等にも共通する内容のものについては、参加人数の余裕のある場合には参加を呼びかける。

3. 事業

（1）総会・役員会等の開催

① 総会

開催年月日		会 場	主 な 議 事	出席状況
1	令和6年5月17日	広島ガーデンパレス	(1)令和5年度事業報告(案)について (2)令和5年度収支決算(案)について (3)規約改正(案)について	出席 122人 委任 45人
2	令和7年3月11日	広島ガーデンパレス	(1)令和6年度収支補正予算(案)について (2)令和7年度事業計画(案)について (3)令和7年度収支予算(案)について	出席 117人 委任 39人

② 役員会

開催年月日		会場	主 な 議 事	出席状況
1	令和6年4月23日	広島県社会福祉会館	(1)業務部会部会員の決定について (2)令和6年度能登半島地震における義援金の報告 (3)令和5年度第2回広島県災害福祉支援ネットワーク会議の報告 (4)令和5年度事業報告(案)・収支決算(案)について (5)本協会規約改正について (6)令和6年度第1回総会の開催について	21人

			(7)第 61 回中国地区知的障害関係施設親善球技大会（島根県開催）について (8)HP の行事カレンダー追加について (9)委員等の推薦について (10)その他 (11)各部会からの報告	
2	令和 6 年 6 月 11 日	広島県社会福祉会館	(1)井上元副会長の表彰について (2)委員等の推薦について (3)「第 49 回 広島県知的障害者福祉大会 廿日市・大竹大会」の開催及び「第 1 2 回手をつなぐ育成会中国・四国大会香川大会」の開催・被表彰者の推薦について (4)令和 6 年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修の実施に係る演習ファシリテーターの推薦について (5)人手不足対策に係る業界団体調査の回答についての報告 (6)令和 7 年度広島県社会福祉制度及び予算に伴う要望事項の提出について (7)第 12 回障害者支援施設部会全国大会中国地区大会（広島）について (8)各部会からの報告	15 人
3	令和 6 年 7 月 23 日	広島県社会福祉会館	(1)（公財）日本知的障害者福祉協会令和 6 年度定時評議員会報告 (2)広島県障害者自立支援協議会専門部会「障害者差別解消支援地域協議会」の委員について (3)「交通系 IC カード PASPY」のサービス終了に伴う匿名の方からのお手紙について (4)部会費の補正について (5)「令和 7 年度社会福祉施設等整備費補助金（障害児者関係施設）に係る施設整備の方針」の改正に伴う意見の聞き取りについて (6)令和 7 年度広島県社会福祉制度及び予算に伴う要望事項について	18 人

			(7)ふれあいコンサートについて (8)広島さっそくネットへの会員情報の提供について (9)広島県災害派遣福祉チーム(広島DWAT)におけるチーム員推薦の協力依頼について (10)各部会からの報告 (11)その他	
4	令和6年9月11日	広島県社会福祉会館	(1)彌政副会長の「令和6年度 広島県知的障害者福祉大会 感謝状(広島県手をつなぐ育成会)」の受賞決定について (2)令和7年度広島県社会福祉制度及び予算に伴う要望事項の提出の報告 (3)令和6年度第1回広島県福祉サービス第三者評価推進委員会の報告 (4)令和6年度第1回広島県感染症対策連携協議会部会(広島県新型インフルエンザ等対策行動計画)の報告 (5)令和6年度広島さっそくネット構成団体代表者会議・第1回業種代表者会等の報告 (6)令和6年度中国地区知的障害者福祉協会第2回会長会議の報告 (7)就労継続支援A型事業所について (8)令和6年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修の演習ファシリテーターの推薦について (9)各部会からの報告 (10)広島県知的障害者ソフトボール協会についての報告 (11)その他	20人
5	令和6年11月8日	広島市南区役所別館	(1)互助制度における保険会社からの説明 (2)令和6年度全国会長・事務局長会議の報告 (3)第61回中国地区知的障害関係施設親善球技大会の報告	17人

			(4)令和 6 年度中国地区知的障害者福祉協会第 3 回会長会の報告 (5)令和 6 年度あいさぽーとふれあいコンサート in ひろしまの報告 (6)広島さっそくネット令和 6 年度第 1 回シミュレーション訓練結果について (7)第 12 回障害者支援施設部会全国大会中国地区大会の進捗状況について (8)月刊誌『さぽーと（2 月号「実践レポート」）』執筆者の推薦について (9)各部会からの報告 (10)その他	
6	令和 6 年 12 月 6 日	広島市南区役所別館	(1)PASPY 廃止に伴う広島の公共交通の利便性を守る署名活動への協力について (2)第 12 回障害者支援施設部会全国大会中国地区大会について (3)各部会からの報告 (4)その他	18 人
7	令和 7 年 2 月 25 日	広島県社会福祉会館	(1)「令和 6 年度中国地区知的障害者福祉協会第 4 回会長会議」及び「令和 6 年度中国・四国地区知的障害者福祉協会会長会議」の報告 (2)第 12 回障害者支援施設部会全国大会中国地区大会の報告 (3)令和 6 年度第 2 回業種代表者会の報告 (4)令和 6 年度補正予算（案）及び令和 7 年度事業計画・収支予算（案）について (5)令和 6 年度第 2 回総会及び令和 7 年度第 1 回総会の開催について (6)各部会からの報告 (7)その他	21 人

③ 監事会

期 日：令和6年4月23日

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：(1)令和5年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について
(2)その他

出席者：会長、監事3人、事務局1人

④ 予算・政策要望活動

広島県社会福祉協議会社会福祉制度・予算対策委員会への参画

⑤ 各種研修等ファシリテーター推薦依頼派遣状況

推薦依頼団体一覧：

ア)広島県知的障害者福祉協会(略称:知福協)

イ)広島県障害児(者)地域療育等支援事業連絡協議会(略称:療育等)
(広島県知的障害者福祉協会児童発達支援支援部会)

ウ)広島県身体障がい者施設協議会

エ)広島県精神障害者支援事業所連絡会

オ)広島県就労振興センター

カ)広島県障害者相談支援事業連絡協議会

	【西部地区】		【中部地区】		【東部地区】		合計人数
	事業所	人数	事業所	人数	事業所	人数	
(1)相談支援従事者初任者研修(推薦依頼数:知福協5人 療育等4人)							
広島会場(5日間)	4か所	4人	1か所	1人	1か所	1人	計. 9人
福山会場(5日間)					3か所	3人	
(2)相談支援従事者現任研修(推薦派遣数:知福協 3 人 療育等 2 人)							
広島会場(3日間)	3か所	3人	1か所	1人			計. 5 人
福山会場(3日間)					1 か所	1 人	
(3)相談支援主任研修(推薦依頼なし)							
(4)サビ管及び児発管責任者研修基礎研修(推薦依頼数:知福協 15 人 療育等 15 人)							
広島会場(2日間)	7 か所	7 人	3か所	3人	4か所	4人	計. 30 人
広島会場(2日間)	3か所	3人	1か所	1人	4か所	4人	
福山会場(2日間)	1か所	1人	1か所	1人	6 か所	6 人	
(5)サビ管及び児発管責任者研修実践研修(推薦依頼数:知福協9人 療育等8人)							
広島会場(2日間)	2 か所	2 人	4か所	4人	5か所	5人	計. 17人
福山会場(2日間)					6 か所	6 人	
(6)サビ管及び児発管責任者更新研修(推薦依頼数:知福協 13 人 療育等 12 人)							
広島会場(2日間)	2 か所	2 人	1か所	1人	3か所	3人	計. 9人
福山会場(2日間)					3か所	3人	
(7)サビ管及び児発管責任者専門別研修(推薦依頼なし)							

- (2) 各支援部会の開催
 - [児童発達支援部会]
 - [障害者支援施設部会]
 - [日中活動支援部会]
 - [生産活動・就労支援部会]
 - [地域支援部会]
 - [相談支援部会]
 - [支援スタッフ部会]
- (3) 各業務部会の開催
 - [政策・調査・研究部会]
 - [人権・倫理部会]
 - [人材育成・研修部会]
 - [事業部会]
 - [総務部会]
- (4) 第 53 回中国地区知的障害関係施設長会議の実施
 - 令和 6 年 4 月 18 日 (木)・19 日 (金)
 - かめ福オンプレイス
- (5) 第 63 回中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会への参加
 - 令和 6 年 7 月 4 日 (木)・5 日 (金)
 - 米子コンベンションセンターBIGSHIP
- (6) 令和 6 年度全国知的障害関係施設長等会議への参加
 - 対面とオンデマンド配信によるハイブリッド開催
 - 対面：令和 6 年 7 月 11 日 (木)・12 日 (金)
 - 東京国際フォーラム
 - オンデマンド配信：令和 6 年 8 月 5 日 (月)～19 日 (月)
- (7) 第 60 回全国知的障害福祉関係職員研究大会への参加
 - 令和 6 年 10 月 3 日 (木)～4 日 (金)
 - 福井市フェニックスプラザ (福井県)
- (8) 第 12 回 障害者支援施設部会全国大会 中国地区大会 (広島)
 - 令和 6 年 12 月 19 日 (木)・20 日 (金)
 - 広島国際会議場
- (9) 第 18 回広島県障害者陸上競技大会開催事業の実施
 - 令和 6 年 5 月 12 日 (日)
 - 東広島運動公園
- (10) 第 61 回中国地区知的障害関係施設親善球技大会への参加
 - 令和 6 年 9 月 22 日 (日)
 - 島根県立体育館ほか
- (11) 第 23 回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」ソフトボール競技中国・四国地区予選会への参加 **【準優勝】**

- 令和6年4月27日（土）・28日（日）
島根県立浜山公園 野球場・少年野球コーナー（島根県）
- （12）第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」への参加
ソフトボール（知的）競技 【出場なし】
令和6年10月26日（土）～28日（月）
佐賀市等 SAGA スタジアム
- （13）第49回広島県知的障害者福祉大会（廿日市・大竹大会）
第22回はつらつ大会本人大会（廿日市・大竹大会）
令和6年11月17日（日）
ウッドワンさくらぴあ 小ホール
- （14）（公財）日本知的障害者福祉協会主催
「第11回全国小・中学生障がい福祉作文コンクール」募集協力
応募数：小学校【1校1作品】中学校【1校5作品】
- （15）県内3地区親善行事（西部・中部・東部）球技大会の開催
西部：令和6年6月9日（日） 広島修道大学
中部：令和6年6月6日（木） 東広島市運動公園
東部：令和6年10月14日（月・祝） 福山平成大学
- （16）（公財）日本知的障害者福祉協会主催における各支援部会の全国・
地区会議・大会等への参加
- （17）広島県知的障害者福祉協会 総会及び施設長会議の開催
令和6年5月26日（金） 広島ガーデンパレス
令和7年3月14日（木） 広島ガーデンパレス
- （18）あいサポート アート展への参画・協力
令和6年10月29日（火）～11月3日（日） 広島県立美術館
令和6年11月26日（火）～12月1日（日） ふくやま美術館
- （19）令和6年度あいサポート・ふれあいコンサート in ひろしまの開催
令和6年9月14日（土）
コジマホールディングス西区民文化センター
- （20）「広島さっそくネット」シミュレーション訓練の参加
第1回：令和6年9月4日（水）
第2回：令和7年3月10日（月）
- （21）広島県災害福祉支援ネットワーク構築推進事業（広島 DWAT）への参画

4. 総括

それぞれの支援部会・業務部会において、令和 6 年度障害福祉サービス報酬改定における各種の課題整理（支援時間の導入、意思決定支援に基づくサービスの選択、強度行動障害を有する児・者への支援体制の充実、施設外の日中サービスの利用意向の確認など）及び研修等が実施され成果を得た。また、障害福祉サービスの「質の向上」などを目的とする各種の養成研修会におけるファシリテーターの派遣を頂き、感謝します。引き続き令和 7 年度も更なるご協力をお願いします。

さらに、今後は大規模災害等を想定し、広島さっそくネット構成団体の一員として、災害時の支援体制の整備に向けた活動が展開できるよう、各種の状況把握や情報共有を図る必要があります。

支援部会

■児童発達支援部会

方針：乳幼児期、学齢期、青年前期における切れ目のない支援と保健、医療、保育、教育、就労支援等と連携した地域支援体制を図る観点から、個々の課題やその家族の状況及びニーズに応じて、障害児支援等の質の向上を図ることを目指す。併せて、障害児のサービス提供体制の計画的な構築（令和6年度報酬改定の基本的な報告性を熟慮する）に向けて、通所支援・入所支援に応じた研修会等を実施し、多様な施設機能の充実や職員の専門性の向上を図る。また障害児相談支援の充実に向けて、各種の検討協議を行う。

人材確保に向けて、「乳児・幼児・児童支援施設就職説明会（乳・幼・児ナビ）仮称」を新たに企画/実施する。

通所支援分科会

方針：通所支援（①児童発達支援、②居宅訪問型児童発達支援、③放課後等デイサービス、④保育所等訪問支援）事業の実施に応え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。

具体的には、児童発達支援センターを中核に身近な地域でニーズに応じた必要な発達支援が提供できる機能強化と地域の体制整備・インクルージョンの推進を図ると共に、①支援の質の保障 ②家族支援の重要性 ③保育所等との併行通園に係る支援及び保育所等訪問支援の充実 ④学校との連携 ⑤保護者の就労支援等、⑥医療的ケア児への支援などの各種の情報交換を行う。

併せて、障害児相談支援における事業体制の整備協力、質の保障、相談スキルの向上等について、相談支援事業所における各種の検討協議を行う。

入所支援分科会

方針：入所支援・通所支援（①児童発達支援、②放課後等デイサービス）事業の実施に応え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。また、障害児入所支援から大人にふさわしい環境への円滑な移行推進に向けて、県および市町、教育機関、相談支援事業所等と連携を図り、移行調整に取り組む。併せて、地域の支援ニーズを踏まえた障害児支援の提供体制の確保について検討協議を行う。

具体的には、①一定の目的を持った短期入所（有期限・有目的 ②強度行動障害を有する児童への対応強化 ③社会的養護の必要な障害児への対応 ④小規模入所における課題 ⑤過齢児の成人サービスへの移行 ⑥県における新たな移行調整・自立支援等に向けて検

討協議 ⑦新興感染症の発生時等の対応について関係機関と協議などを行う。

実施：

1. 各種会議及び研修会

(1) 第1回施設長会議の開催

時期：令和6年5月8日

会場：広島市南区地域福祉センター小会議室

参加者：24人

内容：①報告事項

(i) 令和5年度事業報告及び決算について

②協議事項

(i) 乳児・幼児・児童支援施設就職説明会について

(ii) 情報交換

(iii) 令和7年度第22回全国児童発達支援施設運営協議会（広島大会）について

(2) 第2回施設長会議の開催

時期：令和6年11月1日

会場：広島ガーデンパレス

参加者：25人

内容：①令和6年度事業計画下期について

②乳児・幼児・児童支援施設就職説明会（乳幼児ねぐ）報告について

③中央情勢報告について

④第22回全国児童発達支援施設運営協議会（広島大会）について

⑤意見交換

(3) 第3回施設長会議並びに第22回全国児童発達支援施設運営協議会（広島大会）第1回実行委員会の開催

時期：令和7年1月30日

会場：広島県社会福祉会館

参加者：29人

内容：①令和7年度事業計画（案）について

②第22回全国児童発達支援施設運営協議会（広島大会）開催について

③令和7年度乳児・幼児・児童支援施設就職説明会について

④その他

(4) 第 22 回全国児童発達支援施設運営協議会（広島大会）第 2 回実行委員会開催

時期：令和 7 年 2 月 19 日

会場：広島市南区地域福祉センターボランティア研修室

参加者：16 名

内容：①令和 7 年度事業計画について

②第 22 回全国児童発達支援施設運営協議会（広島大会）について

③その他

(5) 通所支援分科会

①主任職員研修会

（※中国・四国地区幼児通園施設長連絡協議会共催事業）

時期：令和 6 年 8 月 8 日

会場：広島ガーデンパレス

内容：「児童発達支援センターにおける主任の役割」

講師：P.P.P. ヒマワリ！児島

相談支援専門員 間庭英明 氏

参加者：7 人（福祉協会関係）その他 16 人

(6) 入所支援分科会

①中国地区児童施設分科会(入所)施設長会

時期：令和 6 年 4 月 18 日

場所：山口県 かめ福

②中国地区児童施設分科会職員研修会に参加。

時期：令和 6 年 10 月 24・25 日

会場：ピュアリティまきび 岡山市

2. 乳児・幼児・児童支援施設就職説明会（乳・幼・児サ）報告

日時：6 月 30 日午前 10 時～午後 2 時

会場：広島県社会福祉協議会会館 講堂

参加施設：乳児協議会（1 施設）、母子生活支援施設協議会（5 施設）

児童養護施設協議会（8 施設）、福祉協会（13 施設）

後援：広島県、広島市

入場者数：46 人

3. 実態調査

広島県障害児（者）地域療育等支援事業連絡協議会の主管により、児童発達支援センター等機能強化事業（旧障害児・者地域療育等支援事業）の令和 5 年度実態調査を実施し、報告書 100 部を作成し、協力事業所及び関係部局に送付する。

調査期間：令和 6 年 7 月～9 月

調査事業所：広島県分 7 事業所、政令市分 7 事業所
中核市分 5 事業所

事業総括

通所支援・入所支援の両分科会とも、令和 6 年度報酬改定における各種の課題整理（良質な療育支援の確保・中核的機能の在り方・強度行動障害を有する児童への支援・地域生活に向けた支援の充実など）を行うことができた。また、乳児・幼児・児童支援施設就職説明会（乳・幼・児ねぐ）を 27 施設の協力の下、46 人の学生等の参加があり、盛会裏に開催することができた。

■障害者支援施設部会

方針：令和6年度は、報酬改定の年度となった。国連勧告など様々な影響を受けながら、障害福祉施策の進む方向性が明らかになりつつある。障害者支援施設にとっては、地域移行、共生社会が目指される中、居住支援の専門性を明確に発揮していくことが求められている。また、地域生活への意向確認については義務化に向けた指針が明確になった。ここについても、議論されているガイドラインや実践における実態把握に務めながら対応を深めていく必要がある。

また、障害者支援施設の調査研究が進められている。地域移行や共生社会への実現に向けて、地域の環境や状況を踏まえて、更なる取り組みを行う必要がある。本人の意思決定を支える取り組みを本部会においても共有したい。

1. 支援施設部会施設長会議

【第1回】通常会議

時 期：令和6年5月1日

内 容：①新体制確認（新施設長紹介等）
②研修企画：保健衛生担当職員研修会 企画確認
③第3回 全国大会 実行委員会

場 所：広島国際会議場

出席者：44人

【第2回】通常会議

時 期：令和7年2月20日

内 容：①全国大会 振り返り
②令和6年度 事業計画（案） 予算（案）について

場 所：サテライトキャンパスひろしま（県立広島大学）

出席者：24人

2. 研修会

【第10回保健衛生・給食担当職員研修会】

時 期：令和6年9月27日

事務局：障害者支援施設 原

内 容：講演「高齢者におけるフレイル・サルコペニア」
（栄養と摂食嚥下について）

講演「BCP：もしもの時にそなえましょう」

（ローリングストックと水分補給について）

講 師：（株）明治 西日本支社ウェルネス営業部

参加者：54 人

【全国大会】

大会テーマ「共生社会への更なる挑戦」

(インクルーシブで持続可能な本人中心の意思決定)

時 期：令和 6 年 12 月 19 日・20 日

場 所：大会（広島国際会議場）

情報交換会（ANA クラウンプラザホテル広島）

参 加 者：大会参加者 784 人

第 1 分科会（249 人）

第 2 分科会（260 人）

第 3 分科会（174 人）

第 4 分科会（99 名）

情報交換会参加者 448 名

【全国大会実行委員会】

第 1 回（令和 5 年 9 月 11 日） 大会テーマ・会場・各役割について

第 2 回（令和 6 年 2 月 8 日） プログラム・概算予算について

第 3 回（令和 6 年 5 月 1 日） 会場視察・開催要綱案・各役割打ち合わせ

第 4 回（令和 6 年 10 月 11 日） 各役割具体的調整・応援スタッフ調整

第 5 回（令和 7 年 2 月 20 日） 振り返り

■企画委員会（計：10 回）

大会テーマ・プログラム・会場・委託業者・舞台関係・印刷物

情報交換会各進捗と決定事項、新規提案等の確認

■各担当部門 打ち合わせ（随時）

分科会、会場、情報交換会、印刷物、舞台関係、情報交換会など

事業総括

令和 6 年度は、報酬改定により、障害者支援施設として目指すべき共生社会の在り方、地域生活への意向確認など様々な施策が打ち出された。また、高齢・重度者への対応、強度行動障害を有する方への専門的、組織的支援の在り方も加算等にて評価されることとなった。このような状況の中で、第 12 回障害者支援施設部会全国大会を実施することとなり、入所施設の要素や進むべく方向性などをテーマとし、2 日間のプログラムを組んだ。その結果、たくさんの方々に参加頂き、居住支援の在り方などに対する関心の高さが伺えた。引き続き、施策の動向に注視しながら、本部会の活動を展開したい。

■ 日中活動支援部会

方針：日中活動支援部会事業所内でも人材不足や人材難が多く挙がる中、また感染対策をしながらの活動展開で大変苦慮されている事業所も多いのではないのでしょうか。このような状況であるからこそ、支援者が福祉の仕事に誇りを持てるような意識改革や支援力の向上につながる情報共有の場を設け利用者一人ひとりの意思決定支援力の向上や職員の魅力ある職場環境改善につなげられるよう、情報共有・研修の機会を設けていきます。

1. 日中活動支援部会 施設長・管理者会議

【第1回】

時 期：令和6年6月6日

内 容：①令和6年度事業計画の確認・進め方

②研修会について

③全国部会長会議報告

④要望書について

⑤意見（情報）交換

会 場：広島県社会福祉会館

出席者：10人

【第2回】

時 期：令和6年9月18日

内 容：①研修会について

②令和6年度日中活動支援部会全国大会 埼玉大会

分科会発表者について

③意見（情報）交換

会 場：福山すこやかセンター

出席者：11人

2. 職員研修会

【第1回】

時 期：令和6年8月20日

内 容：「人にやさしくなれる考え方」

～強度行動障害のある方の障がい特性から学ぶ人にやさしくなれる支援とは～

講 師：社会福祉法人歓びの園 みゆき広場 管理者 秦昌志 氏

会 場：福山市西部市民センター

参加者：31人

【第2回】

時 期：令和6年8月20日

内 容：「ビジネスマナースキルアップ実践セミナー」

主催 公益社団法人広島県就労振興センター

共催 生産活動・就労支援部会 日中活動支援部会

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：14人

【第3回】

時 期：令和6年11月21日

内 容：芸術・アート活動の取り組み

～ケアの現場とつくること～創作・展示・雑貨～

講 師：社会福祉法人創樹会 鞆の津ミュージアム

キュレーター／生活支援員 津口在五 氏

会 場：広島市南区地域福祉センター

参加者：18人

【第4回】 次年度に順延（インフルエンザ等、感染対策の関係上）

時 期：令和7年2月1日

内 容：音楽を通じた楽しい職場作り

～楽器とあそぶ～

会 場：福山市人権交流センター

事業総括

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の影響もあり、日常的な経営や運営面において早急な対処が求められ、不安や課題が多い中であるからこそ、職員のモチベーションの維持は重要であった。会員事業所から要望の多かった研修内容に取り組むことで、事業所間の活動や支援実態、課題などについて情報共有及び意見交換を行うことができた。今後も他事業所における取り組み事例等から専門職として自覚や誇りを持ち続けてもらえるよう、集合型での意見交換の場を継続していく。

■生産活動・就労支援部会

方針：障害者の就労支援施策が進展している中で、企業を含む地域との連携も進んできた。部会での情報交換を行いながら、生産活動の収入の安定、業務の効率化に繋げていくとともに、利用者本人の就労ニーズや能力・適性を踏まえた適切な支援が行える職員の育成を図る。

1. 生産活動・就労支援部会施設長会議

【第1回】

時 期：令和6年7月18日

内 容：①令和5年度事業報告について
②令和6年度事業計画確認
③令和6年度研修会について
③事業所見学
④各事業所の取り組み
⑤その他、情報交換

場 所：社会福祉法人 平成会 多機能型事業所あさひ
チョコレートカフェ（竹原市田万里町 1241）

出 席 者：17 事業所 20 人

【第2回】

時 期：令和7年2月6日

内 容：①令和6年度事業報告について
②令和7年度事業計画について
③令和7年度研修会について
④事業所紹介について
⑤各事業所の取り組み状況報告

開催方法：ハイブリッド（対面＋Web）

出 席 者：20 人

2. 職員研修会

【第1回】ビジネスマナー研修（広島県就労振興センターとの共催）

開 催 月：令和6年8月20日

内 容：『ビジネスマナースキルアップ実践セミナー』

講師 Morita キャリアプランニング 代表 森田ひとみ 氏

場 所：広島県社会福祉会館

参 加 者：14 人

【第2回】農福連携研修（広島県就労振興センターとの共催）

開催月：令和6年11月6日

内容：①農業振興財団の取り組み
②実践報告（4団体）

場所：広島県社会福祉会館

参加者：13人

事業総括

売上は、各事業所で原価・販売価格の見直し、取引先との関係構築、イベントへの積極的な参加などの多角的な取り組みを実施した結果、8割以上の事業所が昨年より増加または同等の売上を達成することができた。

多機能型事業所あさひの取り組み紹介をテーマに開催した施設長会議では、自主製品作りに関する活発な意見交換が行われ、参加者からは「あさひの取り組みを参考に、自事業所でも新たな商品開発を進めたい」といった声が多数寄せられ、今後の事業展開に繋がる有益な機会となった。

就労振興センターと共催で実施した「ビジネスマナー研修」では、挨拶や報連相、名刺交換などの基本的なビジネススキルを習得した。研修後には、参加者から「顧客対応のスキルアップに繋がった」といった肯定的な評価を得ることができ、就労支援の質の向上に貢献できたと考える。

また、12月に開催された「第12回障害者支援施設部会全国大会中国地区大会（広島）」の情報交換会では、ふれあいプラザと協力して、ジェラートやスイーツの提供を行い、工賃向上と自主製品のPRに繋がった。

■地域支援部会

方針：昨年度は、利用者への暴力行為や食費の不正請求等、虐待事案の報道が後を絶たない状況があった。昨年 10 月に開催した第 34 回全国グループホーム等研修会においても多くの報告があり、意思決定支援の大切さや高齢化・重度化する利用者への丁寧な対応等をより一層大事にしていこうという声が多く上がった。引き続き、意思決定支援や虐待防止を念頭におき、「本人の望む暮らしの実現」に向けて取り組んでいきたい。また、今年元旦に能登半島地震が起こったが、これら災害に対しての BCP 計画も地域防災と連携出来る計画とすることが大切と考える。

最後に令和 6 年度は報酬改定の年であるが、この報酬改定が少しでも本人たちの想いの実現につながるよう努力をしたい。

1. 部会議の開催

【第 1 回 地域支援部会施設長会議】

時 期：令和 6 年 7 月 31 日

内 容：①令和 6 年度地域支援部会役員紹介
②事業所見学及び意見交換
③令和 6 年度研修会について

会 場：社会福祉法人たんぽぽ グループホームたんぽぽ

出 席 者：12 人

【第 2 回 地域支援部会施設長会議】

時 期：令和 6 年 10 月 31 日

内 容：①事業所見学及び意見交換
②令和 6 年度地域支援部会研修会について

会 場：社会福祉法人三矢会 太田川学園豊平ケアホーム

出 席 者：15 人

【第 3 回 地域支援部会施設長会議】

時 期：令和 7 年 1 月 30 日

内 容：①令和 6 年度研修会報告及び事業総括
②令和 7 年度事業計画（案）について
③事業所見学及び意見交換

会 場：社会福祉法人尾道さつき会 グループホームブライト

出 席 者：17 人

2. 研修委員会の開催

【第1回 研修委員会】

時 期：令和6年9月30日

内 容：①研修会について（日時・日程、講師、発表者、内容等）

開催方法：Web 会議

出 席 者：4 人

【第2回 研修委員会】

時 期：令和6年11月22日

内 容：①研修会について（日程、概要、参加者、準備等）

開催方法：Web 会議

出 席 者：5 人

3. 令和6年度地域支援部会研修会

時 期：令和6年12月3日 9時30分から17時

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：研修会全体テーマ「意思決定支援」

①午前の部テーマ「利用者の心の声を聴くために」

②午後の部テーマ「本人の望む暮らしの実現のために」

開催方法：①ハイブリッド（対面＋Web）

②対面集合

出 席 者：①60人（対面6人、Web54人）※世話人、夜勤専門員の方

②31人 ※施設長、職員の方

事業総括

令和6年度は、報酬改定と障害のある人の望む暮らしの実現、サービスの質の向上に向けた取組みの推進が国の示す重点項目であったが、とりわけ障害のある人の権利擁護と意思決定支援への取組みの強化が問われた年であった。

特にグループホームにおいては、株式会社「恵」への行政処分が行われたが、実に全国29カ所のホームでの不正が発覚された現状を、我々は重く受け止めなくてはならない。

また、令和6年度報酬改定から引き続き次の令和9年度への検討課題として、グループホームにおける支援の質の確保や地域格差の是正等があげられるが、特に支援の質の確保については、ガイドラインの策定や管理者・従事者への資格要件や研修の導入が検討されるようである。

さらに、令和7年度より「地域連携推進会議」が義務化され、地域の方々と会議や事業所見学を行うようになる。我々に求められることは、基本である権利擁護や意思決定支援を普通に行う姿勢を大切に継続することである。令和6年度の研修会においては、世話人の皆様から利用者の「今日もありがとう」の

言葉にいつも感謝しているという発言がとても印象として残っている。この気持ちを大切に、令和7年度も部会員全体でより良い運営を考えていきたい。

■相談支援部会

方針：原則、2 か月毎に対面とオンラインによるハイブリットで開催し、主に相談支援に係る情報共有と意見交換と令和6年度は、障害者総合支援法改正法の3年後の見直しと報酬改定に伴い、相談支援に関する改正、変更点等の確認と実践の在り方及び他の障害福祉サービスの法改正と報酬改定により生じる相談支援業務内容の確認等と広島県でのセルフプラン率が全国でも高く、その中でも障害児に対するセルフプラン率が高い現状があることに対して、障害児支援の相談支援の在り方等についての部会内研修の実施を考えています。また、コロナ禍で中止となっていた、県内の相談支援専門員等を対象とした、相談支援の質の向上と個々の相談支援専門員のスキルアップを目的とした研修を再開する予定です。

1. 相談支援部会定例会議

【第1回】

時 期：令和6年4月30日

内 容：①中央情勢報告
②相談支援部会主催研修について
③各地区の情報提供、共有及び意見交換

開催方法：ハイブリッド（対面＋Web）

出席者：27人

【第2回】

時 期：令和6年6月11日

内 容：①相談支援部会研修内容及び役割分担等
②法改正及び報酬改定についての情報交換
③各地区の情報提供、共有及び意見交換

開催方法：ハイブリッド（対面＋Web）

出席者：23人

【第3回】

時 期：令和6年8月20日

内 容：①相談支援部会主催研修の振り返り
②報酬改定内容の再確認及び質疑等
③各地区の情報提供、共有及び意見交換

開催方法：ハイブリッド（対面＋Web）

出席者：19人

【第4回】

時 期：令和6年12月12日

内 容：①報酬改定後の相談支援における全国実態調査報告及び意見交換
②協議会における法改正について確認及び共通理解
③各地区の情報提供、共有及び意見交換

開催方法：ハイブリッド（対面＋Web）

出席者：26人

2. 部会研修会

時 期：令和6年4月30日

内 容：「令和6年度改正総合支援法及び障害福祉サービス報酬改定勉強会」

進行 障害者相談支援事業所リガーレ 一丸善樹 氏

開催方法：ハイブリッド（対面＋Web）

参加者：27人

3. 相談支援研修会

時 期：令和6年7月27日

場 所：広島県社会福祉会館 講堂

参加者：121人

内 容：①基調講演

「法改正及び報酬改定後の相談支援事業所の相談支援事業所の在り方と相談支援専門員に求められる役割」

講 師：藤川雄一 氏

（埼玉県相談支援専門員協会／元厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室相談支援専門官）

②講義

「相談支援に求められる、地域移行を踏まえた意思決定支援とは」

講 師：富岡貴生 氏

（社会福祉法人唐池学園貴志園園長／神奈川県意思決定支援専門アドバイザー／日本相談支援専門員協会 代表理事）

事業総括

定例会として、令和6年度は4回開催した。内容は、総合支援法改正内容と令和6年度障害福祉サービス報酬改定の内容確認や加算等の取得状況の確認と報酬改定後の課題等に意見交換を行い、日本知的障害者福祉協会の政策委員会への現状の課題等と次期報酬改定に向けての要望に繋げた。

また、部会内研修として、総合支援法の改正内容と障害福祉サービス報酬改定の内容と一部加算等の要件に関連する診療報酬改定の内容等の理解を図るための勉強会を開催した。

そして、令和 6 年度から、コロナ禍で中止していた、県内の相談支援専門員を対象として、相談支援の質の向上を目的とした研修会を 5 年ぶりに開催できた。

■支援スタッフ部会

方針：3年ぶりに対面での部会開催が出来るようになり、オンライン研修では得られない他施設支援員との関わり、情報共有の重要性を改めて感じた一年であった。

ご利用者さんが安心して生活出来るよう、支援員が元気である事が大前提であるが、重度高齢化は留まる事なく進み、業務負担も増えている。

利用者支援の個別化も細分化し、新たな課題へ日々対応にあたる支援員のメンタルケアも必要である。

部会員は次世代に繋げたい思いが強く、人材確保・人材育成の一役を担えないか思案している。

「福祉盛り上げようや」を合言葉に、活気ある部会体制で福祉職員の魅力を発信していく1年にしたいと考える。

1. 支援スタッフ部会議

【第1回】

時 期：令和6年5月7日

場 所：広島県社会福祉会館 会議室1・2

内 容：副部会長・圏域代表者選出、検討課題の共有

出席者：40人

【福山・府中圏域】

時 期：令和6年7月8日

内 容：施設見学・講義「地域とのかかわりについて」・情報交換会

場 所：久松共働センター

講 師：久松共働センター施設長 占部幸一 氏

出席者：18人 講師1人

【福山・府中圏域】

時 期：令和6年11月11日

内 容：施設見学・研修・情報交換会

場 所：社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 ゼノやまびこ学園／なごみの家

講 師：「ゼノ」やまびこ学園児童部施設長 高野正之 氏

出席者：18人 講師1人

【第2回】

時 期：令和6年11月29日

場 所：東広島芸術文化ホール「くらら」研修室

内 容：事例報告会「強度行動障がいのある方の支援について」

講 師：社会福祉法人静和会 未来図管理者 木村博文 氏
社会福祉法人一れつ会 ほほえみ生活支援員 高信雄也 氏
出席者：40 人

【広島・広島西・備北圏域】

時 期：令和 6 年 12 月 9 日
内 容：Web 会議(圏域活動のテーマ・今後の会議方法協議)
出席者：8 人

【尾三圏域】

時 期：令和 7 年 1 月 23 日
内 容：施設見学
場 所：社会福祉法人みどりの町
出席者：7 人

【第 3 回】

時 期：令和 7 年 2 月 18 日
場 所：広島県社会福祉会館 会議室 4
内 容：・令和 6 年度活動報告・圏域活動報告(各副部会長)
・次年度事業計画(案)について・中国地区支援スタッフ委員会報告
・全国支援スタッフ委員会報告・福祉協会総会について
出席者：15 人

【広島中央・呉圏域】

時 期：令和 7 年 2 月 27 日
内 容：施設見学・研修(社会福祉法人清水基金伝達研修)・情報交換会
講 師：広島県立松陽寮支援員 満歳奈月 氏
場 所：広島県立松陽寮
出席者：16 人

事業総括

今年度は講師をお願いしての事例報告研修会を行なう事ができ、この熱量が本部会の核であり、次年度も引き続き支援向上、スキルアップを念頭に活動し、次世代への人材育成に関われるような体制作りを目標にしたい。

業務部会

■政策・調査・研究部会

方針：令和6年度において障害福祉サービス等の報酬改定が行われ、障害福祉サービス等報酬改定検討チームが「基本的な方向性」（令和5年12月6日）をまとめ、12月20日には改定率プラス1.12%が示された。今回の報酬改定は、コロナ禍で蓄積された課題とともに、物価高騰対策や賃上げをはじめとする人材確保といった喫緊の経営課題への対応が重要となった。

障害福祉サービスに横断的な課題や各障害福祉サービスに求められる取り組みや今後の支援の方向性に関する情報共有や研修会など、会員相互での制度理解とポイントの深掘りを行っていききたい。

他方、令和9年度の次期報酬改定に向けて積み残された課題と未来について、特に近未来の労働社会の最大の課題である「労働供給制約」は単なる人手不足論ではなく、人口動態に起因した構造的な労働供給不足が予測されている。

各地域での障害福祉サービスの持続可能性と共生社会など多様性について考える中で、単なる人材確保だけでなく、質の高い人材育成が不可欠となっている。人材育成には視野の広い現場実践や家族支援を含めたシェアワークの必要性など長期的視点でのキャリア形成が不可欠である。

また、中国地区の5県の各政策委員との定期的な情報共有や課題分析など連携強化を図っていききたい。

1. 「令和7年度広島県予算・政策要望」取りまとめ

時期：令和6年7月

場所：広島県社会福祉会館

内容：広島県への予要望・政策提言

2. 政策・調査・研究部会会議

【第1回】

時期：令和6年4月

場所：Web会議

内容：①令和5年度事業報告について

②情報共有・意見交換

【第2回】

時期：令和7年2月

場所：Web会議

内容：令和7年度事業計画策定など

3. 中国地区5県政策委員との意見交換

時期：令和6年4月

場所：山口県（中国地区施設長会）
内容：情報交換及び政策等について

4. 「令和6年度政策・調査・研究部会セミナー」延期※
※県内での全国大会などあり延期とする

事業総括

令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定においては、「障害のある人の望む暮らしの実現」および「サービスの質の向上」が重点課題とされた。具体的には、本人の意思を尊重した意思決定支援の推進や、重度障害のある利用者への支援体制に関する評価の拡充が図られた。

一方、地域生活の基盤整備や、サービス提供における質の確保については、引き続き課題が残されており、制度面・運用面の両側面からの継続的な検討が求められる状況である。

改定率は+1.12%となっており、処遇改善加算の一本化を含めると実質的には+1.5%を上回る水準と評価される。しかしながら、他産業との賃金格差は依然として解消されておらず、物価および人件費の上昇を踏まえると、現場の経営環境には厳しさが残る。今後も継続的な財政的支援と制度的な手当が不可欠である。

さらに、2022年の国連・障害者権利委員会による対日審査や、障害者総合支援法および福祉計画の見直しを契機として、障害福祉政策全体が国際的基準との整合性を求められる段階に至っている。法制度のさらなる適合性向上と運用の透明性が期待される。

また、知的障害のある利用者に対する虐待事案の報道が相次いでおり、障害福祉分野全体の信頼回復に向けた迅速な対応と再発防止に資する多面的なアプローチが急務である。

今後の制度および報酬体系の見直しにおいては、「サービスの質の向上」を中心的視点とし、令和9年度の次期報酬改定に向けて、現場実践に根ざした提案とエビデンスに基づく検討を進める必要がある。

このため、本協会としては、日本知的障害者福祉協会政策委員会との連携を一層強化し、ミクロ（個別支援）、メゾ（組織運営）、マクロ（制度・政策）各層における課題分析と提言を通じて、総合的かつ実効性のある政策提案に努めていく所存である。

■人権・倫理部会

方針：各施設・事業所において虐待防止・身体拘束適正化や意思決定支援に対する取り組み強化が求められる中、虐待防止や利用者の権利擁護に努めるには、施設・事業所職員個々の意識・資質の向上と組織としての対応が不可欠であり、そのための研修会開催や課題分析と解決のための活動等を行っていく。

また、関係諸機関と連携・協力を図りながら、人権擁護思想の普及・啓発、障害者虐待防止法・障害者差別解消法の普及・徹底に努め、障害者に対する差別や偏見のない「共生社会」の実現に向けて取り組む。

1. 人権研修会

期 日：令和7年3月25日

会 場：広島市東区地域福祉センター

内 容：講義・演習「虐待防止研修ーあなたのケアは大丈夫？」

講 師：植賀寿夫 氏（フィレール株式会社 代表）

参加者：15人

2. 出前講座（講師派遣）

内 容：会員施設・事業所職員の人権に対する意識の向上を図ることを目的に、出前講座登録講師を依頼（申し込み）のあった施設・事業所に派遣した（2法人、2月、3月）。

3. 人材育成・研修部会の研修会を共催

(1) 強度行動障害支援者養成（基礎・実践）研修

(2) 強度行動障害支援フォローアップ研修

4. 令和6年度障害者虐待防止ネットワーク推進会議

期 日：令和7年3月15日（Web会議で実施）

内 容：障害者虐待の状況等についての報告、意見交換 他

参加者：1人（部会長）

事業総括

研修会開催を中心に虐待防止・権利擁護のための取り組みを行った。人権研修会は、講義と演習（不適切ケアの温度差チェック等）で虐待防止、不適切ケアの改善・予防について学ぶことができた。

また、特性に合わせた支援を学ぶことで、不適切な支援や虐待を防止することにつながるとの観点から、人材育成・研修部会と共催で強度行動障害支援者研修（基礎・実践・フォローアップ）を共催した。

虐待防止・身体拘束適正化や意思決定支援の取り組み状況調査については7年度に実施していきたい。

■人材育成・研修部会

方針：福祉サービスの担い手である職員に、サービス提供に必要な知識、技術を身につける場や横のつながりを構築する場を設ける。また、障がいのある方たちの安心と暮らしや人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるよう支援するための研修を企画実施する。強度行動障害支援者養成研修は実行委員会を設けて行う。

1. 人材育成・研修部会会議

【第1回】時 期：令和6年4月17日

【第2回】時 期：令和7年1月30日

2. 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

時 期：令和6年8月8日・9日

講 師：広島県手をつなぐ育成会 善川夏美 氏

高橋京子 氏

広島県知的障害者福祉協会会員施設の職員

場 所：広島市西区地域福祉センター

受 講 者：52人（会員45人、非会員7人）

3. 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

時 期：令和6年9月5日・6日

講 師：松田病院 松田文雄 氏

広島県知的障害者福祉協会会員施設の職員

場 所：広島市西区地域福祉センター

受 講 者：52人（会員47人、非会員5人）

4. 第12回元気をはぐくむ新任職員基礎講座

時 期：令和6年8月23日

内 容：実践発表【発表者】

児 童 児童発達支援センターあいあい 寅丸真希 氏

支援施設 太田川学園高陽寮 溝口千菜美 氏

生 活 ジョイジョイワークたかにし 岡川昇和 氏

就 労 多機能型事業所あさひ 菅拓哉 氏

地域生活 いずみ 松井智也 氏

「あび王国へようこそ」

グループワーク チームビルド

基礎講座

演題：社会福祉施設で働く職員としての心構えを学ぶ。

講師：社会福祉法人 若葉 名誉理事・相談役 副島宏克 氏
開催場所：広島市東区地域福祉センター
受講者：31人

5. ダウン症について学ぶ研修会

時期：令和7年1月29日・30日
内容：ダウン症
講師：菅野敦 氏
場所：福山市すこやかセンター
受講者：60人（会員45人、非会員15人）

6. 強度行動障害支援者養成研修（フォローアップ研修）

時期：令和7年2月20日・3月13日
内容：

第1回

○講義・演習「行動障害支援について」（基礎・実践研修のおさらい＋α）
進行：発達障害者サポートセンター未来図 施設長 木村博文 氏

第2回

○実践報告（グループ演習）

各施設・事業所での実践をグループで発表し、意見交換等を行った。

○講演

演題：『行動障害支援の基本』

講師：広島県発達障害者支援センター 相談員 下原佳保里 氏

場所：広島県立総合体育館

受講者：第1回15人 第2回16人

7. サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者フォローアップ研修

時期：令和6年7月16日・17日 令和6年9月19日・20日

内容：様々な課題に対応できるリーダーの育成（課題解決アプローチの技法を用いた「変化を作る」方法を学び、実践力を高める）優れた人材の育成と意欲向上、人権擁護（虐待防止）、利用者へ質の高い支援、課題解決能力の向上、会議の運営と組織力の向上、利用者とその家族そして社会から信頼される福祉従事者の確立を目指して。

1日目「基礎編」：行動療法の理論と技法を学ぶ（講義及びグループワーク）

2日目「実践編」：課題解決の計画書の作成（グループワーク）

3日目「実践編」：実践の振り返り（グループワーク）

4日目「応用編」：共通課題の検討（グループワーク）

講師：公認心理士 森分隆 氏

場所：広島市西区地域福祉センター

受講者：6人

8. 広島県社会福祉協議会 社会福祉研修センター運営委員会へ出席

時期：令和7年1月29日

内容：令和6年度社会福祉従事者研修の実施状況

令和7年度社会福祉従事者研修の計画（案）等

事業総括

計画した研修は全て実施が出来た。専門職として必要な知識、技術として強度行動障害支援者養成研修、強度行動障害支援者養成研修（フォローアップ）、ダウン症研修、サービス管理責任者・児童発達支援管理者フォローアップ研修を継続して取組んでいる。又、現場で働く職員の職場定着と育成を目指し、元気をはぐくむ新任研修基礎講座を継続して取組んでいる。若手職員の実践発表を通して、他の事業所における取組みを学び、自覚と誇りを持ち続けてもらいたい。今後もサービス提供に必要な知識、技術を身につける内容を検討していく。

■ 事業部会

方針：スポーツの部

スポーツを通して障がいのある人たちの健康増進と交流を目的とし、
各種スポーツ大会を開催する。

広島県パラスポーツ協会との連携を図る。

広島県知的障害者ソフトボール協会の運営に協力する。

計画：スポーツの部

地区委員 西部：光清学園 中部：六方学園 東部：一れつ会

1. 広島県障害者陸上競技大会

(1) 第18回広島県障害者陸上競技大会 第2回 実行委員会

時期 令和6年4月23日

場所 広島YMCA国際文化センター 会議室

内容 競技種目及び参加選手状況
大会及び競技の進め方等についての協議

(2) 第18回広島県障害者陸上競技大会

時期 令和6年5月12日

場所 東広島運動公園 陸上競技場

(3) 第18回広島県障害者陸上競技大会 第3回 実行委員会

時期 令和6年5月27日

場所 広島YMCA国際文化センター 会議室

内容 反省会及び全国障害者スポーツ大会についての協議

(4) 第19回広島県障害者陸上競技大会 第1回 実行委員会

時期 令和7年1月28日

場所 広島YMCA国際文化センター 会議室

内容 実施要項（案）、収支予算（案）について

2. 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

(1) 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

ソフトボール競技中国・四国ブロック予選会

時期 令和6年4月27日～28日

場所 島根県出雲市

参加者 15名

結果 準優勝

(2) 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」への参加

時期 令和6年10月26日～10月28日

場所 SAGA サンライズパークほか

3. 知的障害関係施設親善球技大会（3ブロック）の実施

西部地区：令和6年6月9日 広島修道大学 体育館、グラウンド

中部地区：令和6年6月6日 東広島市運動公園

東部地区：令和6年6月30日 福山大学

4. 第61回中国地区知的障害関係施設親善球技大会「島根大会」

時期 令和6年9月22日

場所 島根県立体育館

参加者 選手37名（監督引率14人）

球技種目	人数	優勝等
ソフトボール （ストライクアウト）	12人	優勝
ボッチャ	5人	
バドミントン	6人	優勝 団体女子 個人女子
卓球	9人	優勝 団体女子 個人男子
フライングディスク	5人	3位 団体
ボウリング	0人	

5. ボウリンピック 福山

時期 令和6年12月7日

場所 コロナキャットボウル福山店

事業総括

広島県障害者陸上競技大会、ソフトボール競技中国・四国ブロック予選会などの開催に参画した。

知的障害者関係施設親善球技大会においては、数年ぶりに3地区で開催することができた。関係施設・事業所の役職員の皆様のご尽力に感謝いたします。中国地区知的障害者関係施設親善球技大会「島根大会」においても、多くの施設・事業所の出場があり、雨天のためソフトボール競技が代替競技になったが、参加選手は夫々の球技で活躍することができた。

■ 事業部会

方針：文化・芸術活動の部

障害のある人たちの文化・芸術の振興を図るために、会員事業所から生まれる障害のある人たちの作品や様々な活動を紹介し、このことに携わる会員スタッフ（専門支援者）の育成を図る。また、広島県主催の「あいサポート・アート展」「あいサポートふれあいコンサート」開催に参画する。障害のある人たちの権利擁護と会員の資質向上を目的に発刊してきた「心に残るちょっといい話」の続けての刊行をめざす。

計画：文化・芸術活動の部

1. 作品展開催に向けて

(1) 令和6年度 作品展開催に向けて実行委員会開催

第1回	実行委員会	令和6年5月27日	web会議
第2回	実行委員会	令和6年6月28日	会議 情報交換会
第3回	実行委員会	令和6年10月3日	会議 (アートルネッサンス会場)
第4回	実行委員会	令和6年12月16日	web会議

(2) 令和7年度 作品展開催に向けて実行委員会開催

第5回	実行委員会	令和7年2月3日	web会議
内容：令和6年度事業報告と令和7年度事業計画			

(3) 作品展・展覧会・事例共有会等

- ・第6回「わたしは花」展 開催
- ・踊る宝石（太田川学園）協力・参加
- ・ハナサクモリの大冒険（太田川学園）協力・参加
- ・事業所見学・事例共有会 実施
 - 見学 社会福祉法人創樹会「鞆の津ミュージアム」
 - 社会福祉法人あづみの森「尾道あづみ麦酒醸造所」

事例共有会 ： 福山市鞆町「燧治 ひうちや」

2. 広島県主催の「あいサポートアート展」作品審査、作品展示作業協力、作品展会場係及び「あいサポートふれあいコンサート」開催に協力・参加

(1) あいサポートアート展

広島・福山会場作品展示作業協力、アート展会場係として協力・参加

(2) あいサポートふれあいコンサート

令和6年9月14日 広島市西区民文化センター

3. 「心に残るちょっといい話」第11集の発行

部会員で編集などについて協議できず未発行

事業総括

作品展開催などに向けてweb会議を3回、対面会議を2回行ない、展示会、情報交換会、事業所見学、事例共有会などを実施した。

昨年度に引き続き実施した「事例共有会」は、会員スタッフと広島県アートサポートセンター職員などの参加がありました。

広島県主催のあいサポートアート展では、例年通り多数の役職員が受付・展示作業などに協力・参加した。

あいサポートふれあいコンサートでは、出演11団体、約360人の来場者（出演者・関係者含め）があった。広島県手をつなぐ育成会など他団体と相互協力して開催することができた。

以上のように、事業部会に係わる会員スタッフだけでなく各施設・事業所の役職員、他団体の協力関係は大きいので、今後とも、文化・芸術の部の活動への参画・協力関係を発展させていけるよう尽力します。

■総務部会

方針：広島県知的障害者福祉協会の会員施設・事業所への情報発信と会員相互の情報共有を有効にすすめるためのツールとして、ホームページを活用する。また、各支援部会や各福祉圏域内での情報や意見交換に WEB を活用していただき、コロナ禍前のような事業が推進できるように予算管理や調整を図る。

さらに会員施設の各活動の推進として、必要に応じて広島県主催の行事等において役割を担い、有益性のある情報発信に努める。

1. 総務部会議

令和 6 年 5 月に事業計画の確認を行った

2. 研修会の実施

実施できず

3. ホームページの更新

ホームページに当協会の行事予定表を掲載した

4. 圏域会議の推進

(福山・府中圏域)

期 日：令和 6 年 6 月 5 日

開催方法：Web 会議

内 容：協会の取り組みについて（研修会の検討、協会・圏域の情報共有）

期 日：令和 6 年 8 月 6 日

会 場：福山市民参画センター

内 容：協会の取り組みについて（研修会の検討、協会・圏域の情報共有）

期 日：令和 6 年 9 月 27 日

会 場：福山市民参画センター

内 容：職員研修

期 日：令和 7 年 2 月 28 日

開催方法：Web 会議

内 容：協会の取り組みについて（研修会の検討、協会・圏域の情報共有）

(尾三圏域)

期 日：令和6年7月5日

会 場：社会福祉法人みどりの町 とよの郷

内 容：協会・圏域の情報共有・BCPの義務化について

期 日：令和7年2月13日

会 場：社会福祉法人さつき会グループホーム・生活介護事業所 ブライト

内 容：協会・圏域の情報共有・育成会三原・竹原大会について

5. 広島県主催の行事等への参加

「ふれあいコンサート」準備、当日運営等に携わった

事業総括

今年度より、当協会のホームページに行事予定表を掲載し、部会の活動内容や研修会の開催案内を、会員の皆様にいち早くお届けできるようにした。

令和6年度の「ふれあいコンサート」は広島市で開催され、参加団体が大幅に増加した。障がいのある方々にとって、文化活動やパフォーマンスの場としての重要性が一層高まった。

圏域会議は、Web会議や対面会議など、さまざまな形式で開催された。